

英語教育への取り組み

ALL ENGLISH DAY in Shake Elementary School ～社家小学校で「一日英語デー」を実施～

6月24日、社家小学校で一日英語デーを実施しました。

市内小中学校の ELT（英語指導講師）が社家小学校に集合し、朝のあいさつは、“Good Morning !!” 児童たちも元気に英語で返してくれました。低・中・高学年それぞれで分かれ、ゲームなどを通して英語に親しみました。

一日英語デーを体験した児童からは、「もっと英語を話したい！」や、「いろいろな国の文化を知りたい！」と感想が聞かれました。

今年度は、社家小学校のほか、9月に今泉小学校で実施する予定です。また、来年度以降、同様の取組を推進していきます。



▲ 英語を使ってゲームを行う様子

英語教育推進協議会を設置 ～世界の人との出会いを楽しめるように～



英語教育推進協議会では、海老名市の英語教育の在り方を検討・協議し、平成 29 年度から平成 32 年度を計画期間とする「海老名市英語教育実施計画」を策定します。

平成 29 年度からは、同計画をもとに、市立小中学校英語教育の充実と強化を図り、英語を活用して世界中の人々と交流ができる「えびなっ子」の育成を推進していきます。

2020 年（平成 32 年）の東京オリンピックを視野に入れながら、児童生徒が海老名で育ったことに自信と誇りを持ち、身近な人々はもちろん、世界の多種多様な人々との出会いを楽しみ、お互いを尊重しながら、共に社会をつくり上げていくことを目指します。

中学校 1 年全教室に天つりプロジェクターを設置

～画像や映像を映して、分かりやすい授業を展開～



▲ 設置された天つりプロジェクター

市内中学校 1 年生の教室に、天つりプロジェクターを設置しました。9月から授業で活用します。

プロジェクターを設置することで、デジタル教科書や画像、映像を生徒全員で共有して見ることができ、生徒にとってより分かりやすい授業が期待できます。

また、電子黒板として使用すると、映した画像への書き込みができたり、授業内容のデータ保存ができたりするため、活動的で次につながる授業を展開することができます。

ご登録ください「学校メール」

学校メールは、防犯・防災に関する緊急情報や学校からの連絡事項などを通知するシステムです。

通学している小・中学校から、皆さんの携帯電話、スマートフォンなどにメールを配信します。登録は無料ですが、通信料・パケット料は登録者の負担となります。

登録方法など、詳しくは、お子さまが通学する学校へ直接お問い合わせください。



お子さんに関するお悩み えびりーぶでお聞きします

お子さまの行動面などで、お困りの点がありましたら、学校または、教育支援センター（えびりーぶ）にご相談ください。

相談専用ダイヤル ☎234-8700

受付時間 (月)～(金) 9時～16時30分
(土) 9時～11時30分

抱えこまずに相談を！！



「学校警察連携制度」を運用しています

～学校・家庭・警察が一体で児童・生徒を支援～

近年、児童生徒に関する課題は、ますます複雑多岐化しており、学校だけで解決することが難しい事案が増えています。

この状況を踏まえ、教育委員会では、平成23年4月に神奈川県警察本部と取り交わした「学校と警察との情報連携に係る協定」に基づく学校警察連携制度を運用しています。

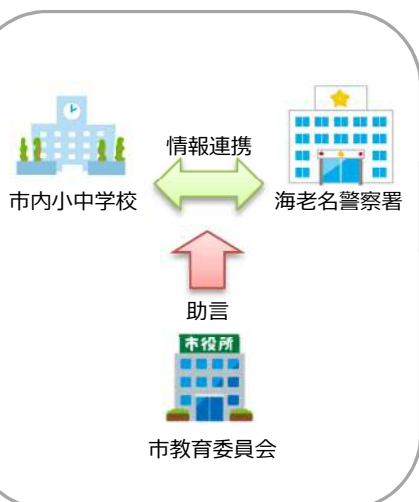
【制度の目的】

- I 健全育成
児童生徒の「安心して安全な生活を送る権利」を保障します。
- II 犯罪などの被害防止
児童生徒が犯罪や暴力などの被害に遭わないことを目指します。
- III 非行防止
児童生徒が重篤な非行に走らないように支援を図ります。

本制度は、児童生徒の健全な育成、犯罪被害の防止および非行防止のためには、学校・家庭・警察が一体となって支援や指導を行っていく必要があることから、学校と警察が必要に応じて、相互に児童生徒の個人情報を提供したり、協議を行ったりするものです。

市内小・中学校では、日頃から児童生徒に関する問題について、適宜支援・指導を行っていますが、警察署との情報連携が有効であると判断した場合は、当該学校と教育委員会が協議の上、本制度を適用して、警察と連携しながら問題の解決にあたります。

制度の対象となるのは、違法行為が繰り返されているケース、犯罪被害に遭う恐れのあるケースなど、学校・警察・家庭が連携することにより、児童生徒の非行の悪化防止、被害の発生の未然防止、児童生徒の立ち直りなどに一層の効果が上がる事案です。



▲ 学校警察連携制度のイメージ

総合教育会議を開催しています ～児童生徒・教職員の生活時間などを協議～

8月21日、東柏ヶ谷小学校にて平成28年度第2回海老名市総合教育会議を開催しました。総合教育会議は、市長と教育委員会が相互の連携を図り、より一層民意を反映した教育行政を推進するための協議・調整の場です。児童生徒・教職員の生活時間や保護者の経済的負担の軽減について協議しました。

次回、第3回総合教育会議は、海老名中学校区を対象として、10月22日（土）13時30分から開催します。

詳細は学校を通じて、ご案内します。



▲ 今年度第2回総合教育会議の様子
(東柏ヶ谷小学校ランチルーム)

申し込みは不要です。
保護者の皆さまをはじめ、多くの方の参加をお待ちしています。

よりよい授業づくりのための学校訪問



▲ 教員と指導主事との話し合いの様子

市教育委員会では、平成27年度から、学校教育の指導に携わる指導主事による「よりよい授業づくりのための学校訪問」を行っています。

実際の授業を参観した後、学校の教員と指導主事が授業方法や教材の工夫などについて話し合い、児童・生徒にとって、よりよい授業となるよう研究しています。

教育長コラム第8回 「連携」

保護者と教職員の連携、地域と学校の連携というように、教育においては、近年、連携や協働という言葉が多く使われるようになりました。

しかしながら、それは、そんな簡単にはいかないようです。

確かなことは、よりよい子どもの成長のためには、連携しなくてはならないということですが、なかなか思うようには行かないようです。難しいようです。

私は、違う立場の人たちが手を結ぶわけですから、まずは、お互いの立場を尊重し、理解することが大切だと思っています。その上で、子どもたちのために何をするかという目的を十分に話し合っ、共通理解して取り組む必要があると思うのです。そして、取組の結果として、お互いが満足することが、次へとつながると考えています。

学校の歴史を紐解くと、歴史の古い学校には、地域の文化財の研究に尽力した教職員の記録や関東大震災後の校舎の再建を行った地域の人たちの写真が残っています。

私は、そこに連携が機能するヒントがあると思っています。子どもたちのよりよい成長のために、自分たちの立場でできる献身的な活動から生まれるのが連携ではないかと考えるのですが、いかがでしょうか。

私は、海老名の小中学校が、地域とともにある「おらが学校」になることをめざしています。

市ホームページ「教育長の部屋」で教育長の思いや考えを発信しています→



! 次号の「えびなの教育」は平成29年1月発行です